

様式第1号

会 議 録

会議の名称		令和3年度第3回つくば市公共交通活性化協議会		
開催日時		令和4年(2022年)2月10日 開会 13:30 閉会 15:00		
開催場所		つくば市役所 本庁舎5階庁議室		
事務局(担当課)		都市計画部総合交通政策課		
出席者	委員	岡本委員、中村委員(代理:富山様)、鈴木(裕)委員、牧瀬委員、佐藤委員、横地委員、新階委員、大野委員、川上委員、服部委員、海老澤委員、武藤委員、福土委員、渡邊委員、松信委員、長委員、大井委員(代理:大久保様)、星野委員、金谷委員、鈴木(誠)委員、谷田部委員、大澤委員、鈴木(保)委員、川根委員、坂本委員、一色委員、飯田委員、小原委員、富田委員、中根委員 ※中村委員(代理:富山様)、横地委員、大野委員、松信委員、長委員、金谷委員及び大澤委員はオンライン参加		
	その他	オブザーバー参加 ・牛久市 ・関鉄パープルバス株式会社		
	事務局	岡田次長、伊藤課長、細谷課長補佐、上田主査、北澤主事、井崎主事		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	5名
非公開の場合はその理由				
議題		<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度事業 筑波地区支線型バスの本格運行について</li> <li>・令和4年度事業 つくバスの路線新設について</li> <li>・令和4年度事業 つくバス既存路線の増便、バス停留所追加及びダイヤ見直しについて</li> <li>・新高校生等に対するリーフレットの配布(令和4年度入学生)計画について ほか</li> </ul>		
会議録署名人		—	確定年月日	令和 年 月 日
会議次第	1 開 会			
	2 挨 拶			
	3 議 題	(1) 審議案件		
	案件 1	令和4年度事業	筑波地区支線型バスの本格運行について	
	案件 2	令和4年度事業	つくバスの路線新設について	

様式第1号

	<p>案件3 令和4年度事業 つくバス既存路線の増便、バス停留所追加及びダイヤ見直しについて</p> <p>案件4 新高校生等に対するリーフレットの配布（令和4年度入学生）計画について</p> <p>(2) 報告案件</p> <p>案件1 令和4年度事業 路線バス運行実証実験事業について（路線変更）</p> <p>案件2 令和3年度第3四半期までの利用実績について（つくバス・つくタク・支線型バス実証実験・路線バス実証実験速報値）</p> <p>案件3 デマンド型交通つくタク運行事業業務委託 公募型プロポーザルの結果について</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p>
<p>○：委員 ●：事務局 ◎：オブザーバー</p> <p>&lt;審議案件&gt;</p> <p>・概要報告 <u>各種実証実験（令和元年度～令和3年度事業）の概要報告について</u></p> <p>●事務局：資料1に沿って説明。関鉄路線バス「森の里線」、「緑が丘団地線」を宝陽台経由にしてほしいという要望を受け入れることができないという関東鉄道株式会社からの回答について、宝陽台区長に説明を行い、納得いただいた旨を説明。宝陽台地区の利便性向上手段として、牛久市コミュニティバス「かっぱ号」を、現行ルートのみでバス停留所位置を変更することなら検討可能という牛久市からの意見も紹介。</p> <p>・案件1 <u>令和4年度事業 筑波地区支線型バスの本格運行について</u></p> <p>●事務局：資料2に沿って説明。</p> <p>○委員：住民からの要望に対し、きめ細やかに対応いただき、事務局には大変感謝している。筑波地区の代表として、この場をお借りしてお礼を申し上げます。</p> <p>筑波地区支線型バスをシンボルとして、地区の活性化を図りたいと考えているので、引き続きよろしくお願ひしたい。</p> <p>○会長：各委員からの意見がないため、来年度から本格運行する、筑波支線型バスの運行コース、バス停留所の位置及び名称については承認とする。また、ダイヤについては、引き続き継続審議とする。</p> <p>・案件2 <u>令和4年度事業 つくバスの路線新設について</u></p> <p>●事務局：資料3に沿って説明。宝陽台を経由してほしいという要望もあつ</p>	

たが、目的地が牛久駅であったことから、既に運行している牛久市コミュニティバス「かっぱ号」と重複することや運賃も所要時間も「かっぱ号」のほうが優れていることなどを踏まえ、牛久駅への移動手段は「かっぱ号」に委ねることとし、新たなつくバスの路線は宝陽台経由にしなかったことを説明。

○会 長：路線新設に伴い、つくバスガイドは改定されるのか。

●事務局：改定される。本案件承認後、印刷会社とデザインなど調整し、3月下旬には、各窓口センターに配置可能なように進めたい。

○委 員：新設の「荃崎第二小学校」バス停留所について、下校時に児童が道路を渡り、下りバス停留所に移動する際に利用する横断歩道はどの位置にあるか。遠いと横断歩道を無視して道路を横断したり、近いと停車しているバスの陰に隠れてしまい対向車から見えにくくなったりするリスクがある。

●事務局：下りバス停留所通過後、最初の丁字路の直前に横断歩道がある。バス停留所の位置については、警察に相談し現場確認もしてもらっていることから、安全性に問題はないと考えている。学校にはバス乗降時の事故リスクについて、別途説明したい。

○会 長：各委員からの意見がないため、つくバスの路線新設（荃崎シャトル）については承認とする。

・案件3 令和4年度事業 つくバス既存路線の増便、バス停留所追加及びダイヤ見直しについて

●事務局：資料に沿って説明。吉沼シャトルの「学園の森2丁目北」上りバス停留所の移設については、学園の森地区の区会に説明済みであること、西部及び谷田部シャトルの時刻変更については、真瀬及び島名小学校に説明済みであることも報告。

○会 長：学園の森2丁目北の下り停留所について、なぜこの位置なのか。もっと交差点に近いほうが利用しやすいのではないか。

●事務局：交差点に近い部分は、店舗の入口やガードレールがあったことから、関鉄パープルバスの停留所と同じ位置に設置した経緯がある。

○会 長：各委員からの意見がないため、つくバス既存路線の増便、バス停留所追加及びダイヤ見直しについては承認とする。

・案件4 新高校生等に対するリーフレットの配布（令和4年度入学生）計画について

●事務局：資料に沿って説明。市内のS高等学校について、配布計画に当たり茨城県から声がけしたが、今回は辞退することであった。

○委 員：S高等学校から辞退の申し出があったとのことだが、生徒から利

用したいとの要望があった場合の救済措置を考える必要はないのか。

●事務局：S高については、通信制の学校であり、通学コースはまだ検討中であることから今回は辞退したと伺っている。

○委員：令和2年度の利用実績について、前年度と比較して新入生数は減少している一方、利用枚数は増加している要因を教えてください。

○委員：これまで3月中までとしていた有効期間を、4月29日までとした（代理）ことで入学後も使用できることとなった。

また、対象にコミュニティバスを追加したことも利用枚数の増加要因であると考えられる。

○委員：利用券の有効期限が3月12日～4月29日までとなっているが、新型コロナウイルス感染症の第7波が発生した場合の延長措置は考えているのか。

○委員：本件については、茨城県バス協会主催の乗合委員会での承認事項（代理）であり、新型コロナウイルス感染症の第7波が発生した場合には、再度審議することも考えられる。

○会長：各委員からの意見がないため、新高校生等に対するリーフレットの配布（令和4年度入学生）計画については承認とする。

<報告案件>

・案件1 令和4年度事業 路線バス運行実証実験事業について（路線変更）

●事務局：資料に沿って説明。前回協議会では審議案件であったが、路線変更により廃止されるバス停留所と新設バス停留所が半径300m以内とそこまで離れていないこと、廃止されるバス停留所の利用者が少なかったことなどを背景に、茨城運輸支局と相談した結果、関鉄パープルバス株式会社の2か月前申請で問題ないと判断されたため、今回は報告案件とした。同社は1月25日に申請済みであり、本路線が運行する常総市及び土浦市の交通担当者には説明済みである。なお、前回協議会以降、学園の森地区の区会との協議を踏まえ、「学園の森」交差点ではなく、「遠東」交差点から学園の森方面に南下する経路に変更している。

○関鉄パープルバス：石下～土浦線は、現在、1日3便であるが、沿線開発が進んでいる路線であり、利用者が増加した場合には、増便も検討したいと考えている。運転士不足の問題があるので、すぐには対応困難であるが、親会社の関東鉄道とも相談しながら進めていきたい。

様式第1号

・案件2 令和3年度第3四半期までの利用実績について  
(つくバス・つくタク・支線型バス実証実験・路線バス実証実験速報値)

- 事務局：資料に沿って説明。傾向としては、前年度同期と比較すると増加している一方、前々年度同期と比較すると減少しており、新型コロナウイルス感染症拡大前の水準には回復していない。

・案件3 デマンド型交通つくタク運行事業業務委託 公募型プロポーザルの結果について

- 事務局：資料に沿って説明。これまでつくタクの運行を行ってきた、株式会社セキショウキャリアプラスが、来年度以降も引き続き運行を行うことで決定したことを説明。

<その他>

- 事務局：次回の協議会については、令和4年6月頃を予定。詳細は決まり次第報告する。

以上